

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [多摩市立聖ヶ丘中学校] 担当教諭名 [湯目 康弘] (2年 93名)

相手国・地域 [インドネシア]

海外学校名 [Amalina Islamic Junior High School] 担当教諭名 [Nia Mariana Syahrani]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	「相手国を理解しよう」「自分達ができる身近な SDGs」	20

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Sustainable future
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	みんなが幸せになっていくために、私たちができることを考え、小さなところから実践していこう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> インターネットで情報収集し、必要な情報を取捨選択することができた。 日々の心がけ次第で、自分たちでもできることは多くあることに気づくことができた。 体験を通して、自分たちの生活は様々なことが複雑に関連し合っていることに気づくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットでのコミュニケーションでは、事前に準備した内容は伝えられたものの、会話の中で臨機応変の返答が難しく、生産的な話し合いとまでは至らなかった。 活動することが何につながっているのかについてより多面的に考える機会を作るべきであった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 海外でも、同じような課題に直面していたり、試行錯誤しながらも解決に向けて、様々な取り組みを行っていることが理解できた。 	<ul style="list-style-type: none"> より地球規模で物事を考えたり、より広い情報を集めていく姿勢が大切であることを再認識した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアについて調べ、発表する。 ・実行委員を組織して、学校紹介の動画を作りフォーラムで共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー校のことや、国の文化等を知ることができた。 ・フォーラムを通して実行委員同士で自己紹介をすることで繋がりを感じることができた。 	総合
共有 テーマ学習	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・広くSDGsについて学び、発表し合うことで情報を共有する。 ・クラスごとで、「身近なSDGs」として、自分たちでできることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の厳しい現状を知り、日本の「あたりまえ」は当たり前ではないことが理解できた。 ・自分事として、身近なことから考えることができた。 	総合
融合 メッセージ作成	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスごとで考えたことを計画し実践した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレードのことを学んだり、布の廃棄量の多さなど、多くの課題があることを学ぶことができた。 	総合
創造 壁画制作	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスが取り組んできたことを象徴する壁画を描いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みは違えど、最終的な目標が「みんなが幸せになる」ことだと気づくことができた。 	総合
評価 振り返り 自己評価	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施し、取り組みの前と後の意識変容等を調査した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の学びを通して、新たな視点で物事を考えることができるようになった。 	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	日本では当たり前にある環境が、海外に行くときとそうではないことが理解できていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	上手くいかない理由を考えたり、解決していくための方策について思考しあうことができた。
主体的に考え行動する力	4	「身近なことに自分たちができることは何か」を考え、自ら計画を立てて実行することができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	2	やはり英語の壁はとても厚いと強く感じた。ただ、ジェスチャーや絵などで意思疎通することができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	それぞれ取り組んだことを象徴する絵を協力して描きあげることができた。